

第3回 「自閉症にやさしい社会」研究会

日時 : 平成22年7月14日(水) 19時~21時
場所 : 金沢大学 角間キャンパス 中央図書館 2F オープンスタジオ
報告 : 棟居俊夫 先生 (金沢大学子どものこころの発達研究センター)
参加費 : 無料

◆報告内容◆

「オキシトシンと自閉症スペクトラム障害」

棟居 俊夫 先生

自閉症スペクトラム障害は自閉症、アスペルガー障害、非定型自閉症の総称である。これらは互いに似ており、違いは気付かれる年齢と症状の数だけなので、わざわざ分ける必要はないと考えられてもよい。人口に膾炙している「アスペルガー障害」、「アスペ」などの用語は、何か特別な病気(状態)と思われる恐れがあり、私はこの総称を使用した方がよいと考える。

ところで、自閉症において血中のオキシトシンの濃度が低いという報告があり、なぜかこの追試はなされていないが、自閉症スペクトラム障害の青年や成人に治療目的あるいは研究目的でオキシトシンを与えた研究が4つ報告されている。いずれも何らかの良い方向の結果があったとしている。しかし、何の変化も見られなかった研究は投稿されない可能性があり(出版バイアス)、結論はなお出せないだろう。

自閉症スペクトラム障害の子どもを持った家族が、オキシトシンを自ら個人輸入して、子どもに与えている例はたいへん多いのではないかと考えられる。医療者は新しい治療法に慎重、さらには懐疑的になる傾向があるので、オキシトシンの有用性の有無はもしかすると市民の側から提議さえることになるのかもしれない。

当日は、従来の研究を振り返り、私たちの行っている研究の一端を紹介したい。

◆今後の予定◆

9月8日(水) 19時~21時 場所未定
10月13日(水) 19時~21時 @角間キャンパス中央図書館 2F AV室
11月10日(水) 19時~21時 @角間キャンパス中央図書館 2F AV室

問い合わせ先

〒920-1192 金沢市角間町 人文学類 社会学研究室 担当: 竹内慶至

TEL: 076-264-5476 E-mail: ntakeuti@staff.kanazawa-u.ac.jp

HP: <http://ristex-kanazawa.w3.kanazawa-u.ac.jp>